

社団法人 高知県子ども会連合会



高子連だより

No. 50

平成21年10月1日発行

平成21年度高子連前期総会開催される

《 高子連活動活性化についての答申など 》



前会長 山中國保氏



新会長 西内昭男氏

平成21年6月14日（日）午後3時30分より高知共済会館で16名（含委任）の会員出席のもと、平成21年度前期総会が開催されました。山中國保会長の開会挨拶に続き、県教育長（県教委生涯学習課濱田久美子課長代読）と西森潮三顧問の祝辞をいただきました。山中会長の挨拶の中で「香南市子ども会連合会発足・新加入」が紹介されました。

総会では、議長に高知市子連の小倉卓氏が選任され、平成20年度事業・一般会計・安全会高知県支部会計収支決算報告を審議し承認されました。

また、平成21年度・22年度高子連役員改選にともない会長に西内昭男氏を選任し、新役員が決定しました。

他にも創立40周年記念事業（式典・記念誌発行）、中・四国育成研究協議会（平成22年度・高知県大会）、高子連活動活性化推進委員会より「活動活性化についての答申」が出され協議されました。

平成 21・22 年度

高知県子ども会連合会役員名簿

役 職	氏 名	住 所	役 割 分 担
顧 問	西 森 潮 三	高 知 市	
相 談 役	中 澤 秀 夫	高 知 市	
名 誉 会 員	池 上 隆 一	香 南 市	
	山 中 國 保	香 南 市	
会 長	西 内 昭 男	い の 町	
副 会 長	杉 村 高 晴	高 知 市	研 修 部
	前 田 良 二	須 崎 市	安 全 教 育 部
	平 山 佳 志 美	香 美 市	広 報 部
	大 藤 時 義	日 高 村	地 域 組 織 部
常 務 理 事	小 倉 卓	高 知 市	
理 事	ブ ロ ッ ク 選 出	久 保 尚	安 芸 市
		清 岡 和 茂	安 田 町
		森 下 幸 則	南 国 市
		木 下 洋 一	香 南 市
		浜 田 豊 高	大 豊 町
		池 添 篤	土 佐 町
		岡 本 國 男	高 知 市
		坂 本 守 正	い の 町
		大 崎 輝 男	津 野 町
		奥 田 典 子	中 土 佐 町
	吉 村 脩	黒 潮 町	
	学 識 経 験	山 中 國 保	香 南 市
		吉 永 宣 生	四 万 十 町
大 野 繁 延		高 知 市	
監 事	小 松 義 徳	香 南 市	
	野 町 孝 信	南 国 市	
	榎 木 嘉 彦	い の 町	
事 務 局 長	矢 野 川 尚 史	高 知 市	
事 務 局 員	坂 田 薫	高 知 市	
事 務 局 員	藤 岡 和 子	高 知 市	

高子連専門委員

氏 名	住 所
横 川 遊 亀 寿	香 南 市
竹 村 義 弘	南 国 市
小 谷 正 治	香 南 市
森 本 博 氏	香 南 市
大 藤 時 義	日 高 村
島 村 一 夫	高 知 市
小 倉 卓	高 知 市
大 崎 輝 男	津 野 町
谷 地 森 秀 二	須 崎 市
中 森 道 雄	香 南 市
加 藤 用 子	高 知 市

高子連表彰選考委員

氏 名	住 所
中 澤 秀 夫	高 知 市
山 中 國 保	香 南 市
西 内 昭 男	い の 町
小 倉 卓	高 知 市

安全会見舞金審査委員会委員

氏 名	住 所
山 中 國 保	香 南 市
細 木 秀 美	高 知 市
西 内 昭 男	い の 町
小 倉 卓	高 知 市
前 田 良 二	須 崎 市

市町村子連合併問題検討委員会委員

氏 名	住 所
中 澤 秀 夫	高 知 市
大 藤 時 義	日 高 村
小 倉 卓	高 知 市
山 中 國 保	香 南 市
杉 村 高 晴	高 知 市

平成 21 年度
前期 総会
高 知 会 館



各部委員

地域組織部	大藤 時義・久保 尚・大崎 輝男・西内 昭男・杉村 高晴・前田 良二 平山 佳志美・清岡 和茂・森下 幸則・木下 洋一・浜田 豊高・池添 篤 岡本 國男・坂本 守正・奥田 典子・吉村 脩
研 修 部	杉村 高晴・山中 國保・浜田 豊高・岡本 國男・森下 幸則・木下 洋一 池添 篤
安全教育部	大崎 輝男・前田 良二・奥田 典子・久保 尚
広 報 部	平山 佳志美・吉永 宣生・大野 繁延・坂本 守正・西込 浩一・二宮 大 加藤 用子



就 任 挨 拶

県下各地域で子ども会活動に活躍され、子どもたちの健全育成に向け日夜努力されております皆様、本年度から山中会長の後任として、就任させて頂くことになりました西内でございます。皆様には、日頃より高知県子ども会連合会（高子連）に対しご支援、ご協力頂いておりますことに心より感謝を申し上げます。

さて、今年度は皆様もご存知のように、私ども高子連は、先輩たちの長い間の努力により創立40周年を迎えることになりました。記念事業として、記念誌の発刊と式典を計画し、実行委員会を組織して協議が重ねられ、それぞれに準備が進められております。その作業の内容によっては各会員の皆様に、ご協力を願わねばならない用件も多々あるかと思いますが、意義ある記念事業にするため、その節は是非ご協力をよろしくお願い致します。

また昨年度は、我々高子連活動の活性化の方向性を探るため、前会長の発案により、「高子連活動活性化推進委員会」を有識者の皆様により発足させ、積極的な協議・検討を頂いた結果、多項目にわたるご意見等を答申していただきました。高子連は、この答申に基づき、活性化を推進しなければならないと思っております。しかしながら、最近の社会環境の変化や地域での繋がりの希薄化、また少子化に伴う会員の減少など、多岐にわたる難問を抱えながらの子ども会活動には、最先端で活動されておられる皆様のご協力やご支援なくしては実現できない状況になってきております。

つきましては、各地域での皆様のご意見に耳を傾けながら手を取り合って、皆様の先頭に立って微力ではございますが、全力で頑張っていきたいと思っておりますので心より宜しく願い申し上げます。

(社) 高知県子ども会連合会
会長 西内 昭男

〔 高子連結成 40 周年事業 〕 のあらまし

～ 記念誌 発刊 と 記念式典 ～

〔高子連〕は、昭和 43 年の“一民生委員 一子ども会”を合言葉にはじまった「子ども会」づくりから昭和 44 年に 10 市町村子連と 4 校区の単位子ども会を集めて「高知県子ども会連絡協議会」としてスタートしたことは、会員の皆さまは良くご存知のことと思いますが、さらに、昭和 51 年 1 月 26 日に知事の認可を得て、「社団法人」という“法人格”を取得しました。

これにより、市町村教育委員会をはじめ、多くの少年育成団体の賛同をいただき、「子ども会」活動が飛躍的に広がっていきました。

昭和 54 年に〔10 周年事業〕、昭和 63 年には〔20 周年事業〕が行われ、この間は、順調に組織の拡大と充実が進められていきました。

そして今、平成 12 年 1 月に〔結成 30 周年事業〕が催されてから、早や 10 年が経ちました。

しかし、この 10 年間は〔高子連〕の活動や組織は、順風満帆とはいえない状況がつづいてきました。それは、“少子化”や、子ども会活動そのものに対する意識の変化などの影響を受けてきたものといえます。

〔高子連〕をめぐる状況は、楽観できる状況はきわめて少ないといわざるをえませんが、逆に“子ども会”活動を通じての児童育成の社会的必要性は、高まってきているといえます。いいかえれば、子ども会活動の社会的役割の見直しも迫られているともいえます。

平成 21 年度当初に出された「高知県子ども会連合会の活動活性化推進委員会」による答申は、まさにそれらを意識したものです。

そうしたなかで、〔高子連 40 周年事業〕が進められています。

記念式典は、年明けの平成 22 年 1 月 31 日（日）に、第 34 回高知県子ども会育成大会（高知大会）に併せて、「高知会館」で開かれます。

一方、これまでの各周年行事でも発刊されてきました『記念誌』も発刊するよう準備が進められています。

『記念誌』では、各市町村子連の活動スナップや、高子連の現況、そして 40 周年のあゆみ・思い出、エッセーなどと共に各種資料を掲載します。

また、発刊にご協力いただくための【広告】の募集も始めておりますが、このことの詳細は高子連事務局までお問い合わせください。

なお、『記念誌』の発刊は「40 周年記念式典」のもようも載せることとしておりますので、平成 22 年 3 月を予定しております。（文責：吉永）

◆ 40 周年記念式典・祝賀会

- ・と き 平成 22 年 1 月 31 日（日）記念式典 正午～17 時
祝賀会 17 時～19 時
- ・ところ 高知市本町 5 丁目 「高知会館」にて

第33回高知県子ども会育成大会（津野大会）が開催される

上記大会が平成21年1月25日（日）高岡郡津野町役場ホールで開催されました。今回は地元白石地区鶴松（かくしょう）子ども会の太鼓演奏もあり、100名が参加されました。

開会式に続き20年度の表彰が行われました。

- 活動発表では、※ いの町川内子ども会の、環境、稲作活動
- ※ 高知市子ども会連合会の、鳴子おどりの取り組み
- ※ 最後は、鶴松子ども会の、太鼓演奏で盛り上がりました。

午後はいつもの、コース別研修が行われ盛会裡に終了しました。

20年度の受賞者

高子連表彰	指導者	前田良二（須崎市）	育成者	和田幸子（安芸市）
中・四国表彰	指導者	中邨秀子（高知市）		
全子連表彰	指導者	前田良二（須崎市）		
	子ども会	川内子ども会（いの町）		



白石地区鶴松子ども会による胸深く響く太鼓演奏！



いの町川内子ども会環境、稲作活動についての発表

高知市子ども会連合会



31回目出場 鳴子おどりの取り組み

緑の募金活動に参加

「緑の週間」行事が今年度も行われました。この行事とあわせて4月12日(日)緑の募金活動が中央公園で開会式を行いその後、中央公園北入り口・帯屋町・大丸前の三ヶ所に分かれて「ご協力をおねがいします。」と大きな声で呼びかけました。



この募金は「県内の森林整備や緑化意識の普及活動に大切に活用させていただきます。」と説明すると頑張っているねと心温まる言葉と少しだけと言いながら箱の中に募金を入れてくれました。これからも私たち高子連はふるさとの緑を守るために積極的に参加したいと思います。

第20回緑の少年団全国大会に参加して



川内緑の少年団 (いの町)

中学2年 笹岡 俊介

7月の29、30、31日に、僕達川内の少年団は「緑の少年団 in 京都」に参加しました。

この大会では天気に恵まれず、3日も全て雨でした。

僕たちは丹波の〔日本の鬼の交流博物館〕に行き、鬼について学習しました。

この建物は鬼の顔の形に造られていました。中にはたくさんの資料や仮面、絵、鬼瓦などがたくさん展示されていました。日本の鬼の交流博物館は大江山というところがあり、古くからの鬼伝説が伝えられています。鬼伝説といっても数種類あり、強く印象に残っていたのは酒呑童子(しゅてんどうし)という鬼の伝説です。この伝説は「おおえやま」という唄でも歌われています。唄の最後で鬼は、酔って寝た所を襲われて退治されました。寝込みを襲うなんて英雄っぽくないなと思いました。

学習が終わり外に出てみると、入る時には気づかなかった、僕が口の中に入れそうなぐらい大きな鬼瓦がありました。鬼瓦はいくつもの焼き物で造られており、すごく苦労して造ったのが伝わってきました。

この学習で大江山の歴史などを知ることができ、とてもよかったです。このほかにも天橋立に行ったり、丹波和紙すきを見学したりもしました。普段は来れない京都に行って学習ができたのでよかったです。

第37回中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー大会開催

平成21年8月21日(金)～23日(日)(2泊3日で島根県立青少年の家(サンレイク)において開催された。「中国・四国地方のさまざまな地域を『知り』、子ども会のリーダーとしての技術を『覚え』、率先して『動き』、自ら『考え』、行動し地域子ども会の活性化を実現」できるリーダーになろう!のスローガンのもと150名(ジュニア・リーダー100名、引率者20名、シニア・リーダー30名)が集い“知覚動考”を意識しながら地域子ども会のリーダーになろうと研修をしてきました。



中・四国大会に参加して いの南中学3年 谷 悠太

中・四国大会で学んだことはたくさんあったが自分がこれから大事と思ったのが、ジュニア・リーダーとしての自分の意識と意識しました。

なぜかというジュニア・リーダーとしての意識が低ければ子どもをひっぱっていく側なのに、いっしょにふざけてしまう。人の話を聞いていないから、子どもに教えられないという様な問題が発生し、怪我や事故の元になってしまうということが起こってしまいます。だから、一人ひとりがジュニア・リーダーとしての自覚を持ち、子ども会をひっぱっていくという気持ちをもたなければいけないなと思いました。中・四国大会ではこれが出来ていない人が多く、気づいていない人がいました。

自分は、このような経験をしました。他にも大切なことがたくさんありますが書ききれません。だから、自分に聞いてみてください。頑張ってみんなにつたえたいと思っています。

感想文を他にも
寄せてくれていま
すが紙面の都合
で12月発行の
方に掲載します。



中・四国大会に参加して いの南中学1年 塩見砂理菜

私は始めて中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー大会に参加しました。初めはとても緊張して何もしゃべれずにいたので友達もできずに話にも入れず大変でした。けれど勇気を持ってしゃべると仲良くなれたり話にも入れるようになりました。一緒に来た高知の人達はみんなすぐ友達を作っていたのですごいなと思いました。

私が一番おどろいた事は、島根県のジュニアが日程を作ったということです。大会のテーマである知覚動考が日程の中に入っていてすごいなあと思いました。高知県でやるときはがんばりたいです。

私がこの大会を通じて感じたことは、積極性がたりないなということです。自分から話しかけないと友達もできないし自分の意見をいわないとなにも始まらないのでふだんから積極的になりたいです。

感謝の気持ちを子ども達の未来のために！

賛助会員の方々のご厚情により諸事業が円滑に遂行できています。これからも有効かつ適正に運用して参りたいと存じます。

ここに、ご芳名を掲載させていただき感謝を申し上げます。勝手ながら順不同、敬称を省略させていただきます。

(21年度)

会 員 名	所 在 地	会 員 名	所 在 地
(株) サニーマート	高知市北御座 41-1	(株) 三 柱	吾川郡いの町 6494-35
ひまわり乳業 (株)	高知市与力町 3-10	田中整形外科病院	高知市上町 3丁目 2-6
溝渕勇建材店 (有)	南国市大桶乙 1273	西 富 膳 写 堂	高知市城山町 36
高知電気建設 (株)	高知市比島 1丁目 11-3	(社)高知県山林協会	高知市伊勢崎町 8-24
近 森 病 院	高知市大川筋1丁目 1-16	中 澤 秀 夫	高知市福井東町 23-13
細 木 病 院	高知市大膳町 37	藤川クリニック	香南市野市町西野 2192-2
けら小児科内科アレルギー科	高知市介良 352-1	(有) 土佐タイプ	高知市本町 2丁目 5-19
		池 上 隆 一	香南市野市町東野 1008-5

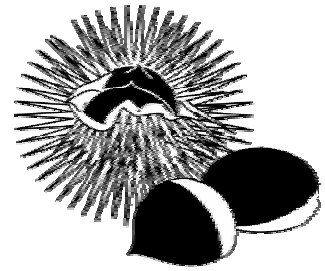
編集後記

暑かった夏も終わり、朝夕、虫の声が聞こえ秋を感じる今日この頃です。子ども達も地域でそして、県子連の活動にと頑張っております。

広報は、懸け橋とともに記録集とも言われています。

確かな記録に残るよう一新した広報部一同頑張っていきたいと思っております。地域での活動状況などお知らせください。

広報部 平山 吉永 大野 坂本
西込 二宮 加藤



(社) 高知県子ども会連合会

事務局所在地

〒780-0870

高知市本町4丁目1番37号

高知県社会福祉協議会分室内

☎ 088-875-0439

FAX 088-872-6211

編集 広 報 部